

**Q** 小学生の参加はいつから、どのような経緯で始まったのですか？

**A** 最初は地元の小作台小学校だけでした。市内の他の学校でも参加してもらえないかと、実行委員が学校を訪問してお願いにあげりました。教育委員会からの呼びかけで、運動会の演技にソーランを取り入れる学校が増えてきたこともあり、7年ほど前から市内の全小学校が参加してくれるようになりました。

**Q** 開会式の後のロータリーは、小学生1、400人ほどに埋め尽くされて、勇壮なソーランが披露されます。加団体はありますか？

**A** 幼稚園、保育園の子供の参加。そして小学生のソーラン。他では類を見ない迫力です。ソーランだけではなく、中学生や一般の愛好家の音楽の演奏もあります。

**Q** 1日目、2日目、それぞれの見所を

**A** 1日目は、先ほどお話し



した市内全校の小学生のソーランです。

2日目は、中学生の吹奏楽演奏と大人のソーランです。「じよいソーラン」を中心にした、全員参加のフイナレも見所です。

**Q** 今後の展望(将来像)は？

**A** 青少年健全育成が中心になったお祭りにしていきたいと考えています。

小作駅周辺の商店の活性化、地域住民のきずなづくりにも貢献していきたいです。

**Q** 最後に実行委員長から一言お願いします。

**A** 今年で12回目の「はむらふるさと祭り」を開催できますのも、近隣企業、商店、行政、商工会、教育関係者のご協力によるものです。

今後も、この祭りが、羽村をふるさとに育つ子供たちの郷土愛づくりと健全育成のために継続できるように、実行委員会一同、努力したいと思っております。

【今年の開催予定】

日時：9月22日(土)

23日(日)

正午～午後6時

会場：小作駅東口広場周辺

※詳しくは広報はむら9月15日号をご覧ください。

子供たちの健全育成や商店街の活性化など、地域の課題を地域の方々が共に認識し、自らの創意工夫で解決しようとする熱い気持ち、伝わってきます。一人ひとりの想いがつながって、地域の力を生み出しているんですね。

天災は忘れたころにやってくる…!

## 市民活動講座

# 「災害時に問われる地域力」を開催します！

災害時には、町内会・自治会や隣近所の、地域を主体とした助け合いによる活動「共助」「近助」が大変重要だといわれています。いざという時のために、今からできること「地域のつながり」について考えてみませんか？

日時：10月4日(木) 午後7時～9時

会場：コミュニティセンター3階ホール

講演：「地域防災を考える～自助、共助の役割～」

講師：瀧本 浩一 さん(山口大学大学院理工学研究科 准教授)

定員：180人 先着順・申込み不要です

主催：羽村市・羽村市町内会連合会

